

■コメント

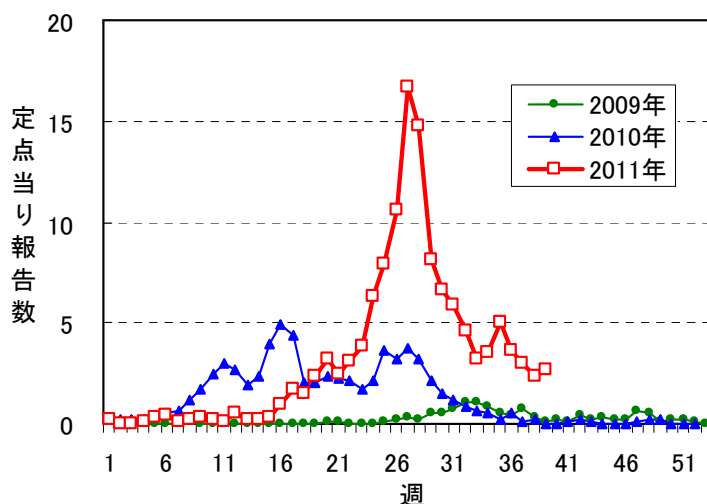
1. 手足口病

定点当たり2.70人とやや増加しました。例年に比べ依然多い状態が続いていますので、体調管理に注意するとともに、引き続き手洗いなどの感染予防対策を徹底しましょう。

2. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は13件(エイズ患者3件、HIV感染者10件)となりました。

手足口病



■定点把握感染症状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.37		ヘルパンギーナ	8	0.35	0.23	
咽頭結膜熱	2	0.09	0.19		流行性耳下腺炎	9	0.39	0.54	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.57	0.88		RSウイルス感染症	1	0.04	0.15	
感染性胃腸炎	69	3.00	3.69	◇	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	8	0.35	0.68		流行性角結膜炎	8	1.00	1.03	
手足口病	62	2.70	0.23	◇	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	5	0.22	0.15		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.14	
突発性発しん	4	0.17	0.65		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.31	
百日咳	6	0.26	0.15		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	9	203	男性(40歳代)・1人、女性(50歳代)・2人、男性(60歳代)・2人、女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	デング熱	1	1	男性(40歳代)・推定感染地域: 国外
5	後天性免疫不全症候群	1	13	男性(40歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第35週	－	2	6	64	18	115	9	7	3	21	6	1	－	4	－	－	1	－
		第36週	－	4	11	67	10	83	9	15	3	14	3	2	－	6	－	－	6	－
		第37週	－	5	28	57	12	69	13	9	2	11	3	3	－	9	－	－	4	－
		第38週	－	6	5	56	10	54	4	12	3	9	8	2	－	4	－	－	－	－
		第39週	－	2	13	69	8	62	5	4	6	8	9	1	－	8	－	1	4	－
定点当り	広島市	第35週	－	0.09	0.26	2.78	0.78	5.00	0.39	0.30	0.13	0.91	0.26	0.04	－	0.50	－	－	0.14	－
		第36週	－	0.17	0.48	2.91	0.43	3.61	0.39	0.65	0.13	0.61	0.13	0.09	－	0.75	－	－	0.86	－
		第37週	－	0.22	1.22	2.48	0.52	3.00	0.57	0.39	0.09	0.48	0.13	0.13	－	1.13	－	－	0.57	－
		第38週	－	0.26	0.22	2.43	0.43	2.35	0.17	0.52	0.13	0.39	0.35	0.09	－	0.50	－	－	－	－
		第39週	－	0.09	0.57	3.00	0.35	2.70	0.22	0.17	0.26	0.35	0.39	0.04	－	1.00	－	0.14	0.57	－
	全国	第37週	0.02	0.26	0.72	2.69	0.46	3.60	0.29	0.63	0.03	1.62	0.69	0.45	0.13	0.70	0.03	0.09	0.87	0.03
		第38週	0.02	0.17	0.52	2.11	0.47	2.75	0.13	0.50	0.02	0.99	0.56	0.43	0.12	0.58	0.02	0.06	0.60	0.02

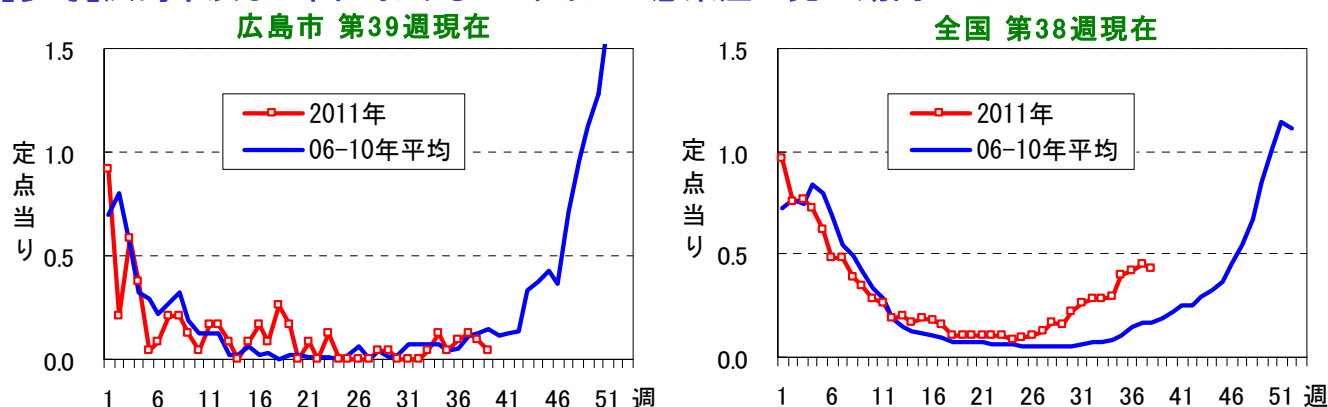
■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 上気道炎 気管支炎 肝機能障害	1	女	2011/08/21	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス
その他の消化器疾患	嘔き気	0	男	2011/08/26	糞便	パレコウイルス1型
その他の消化器疾患	腹痛 腸重積	2	男	2011/08/03	糞便	アデノウイルス2型
その他の発疹性疾患	発熱 伝染性膿痂疹	5	女	2011/08/14	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型
その他の疾患	発熱(38.6)	0	女	2011/08/16	糞便	コクサッキーウイルスB1型
その他の疾患	発熱(38.5) パラ疹 上気道炎	2	男	2011/08/15	鼻汁(拭い液)	パルボウイルスB19
その他の疾患	発熱(40.1) 熱性痙攣	2	女	2011/08/10	糞便	コクサッキーウイルスB1型
その他の疾患	発熱 発疹 肝機能障害 リンパ節腫脹	47	男	2011/09/20	血液	デングウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市及び全国におけるRSウイルス感染症の発生動向



RSウイルス感染症は、2歳以下の乳児を中心に、例年11月から3月頃に流行しますが、今年は全国的に7月以降増加傾向で推移しています。潜伏期間は2～8日で、症状は発熱、鼻汁などの鼻かぜのような症状ですが、年齢が低いほど重症化しやすく肺炎や気管支炎を引き起こすことがあるため、乳幼児は特に注意しなければならない病気です。広島市における小児科定点医療機関23か所からの報告数はまだ少ないですが、全国で増加傾向にあることから、今後の動向に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2011年第39週(9月26日～10月2日)